

道 路 交 通

南北通路の検討結果は
課題は多いが協議を継続



JR下総中山駅

事業者が賃借しているため、これから事業者との契約内容も踏まえ検討する必要があることから、課題は多い。今後も、新たな提案を検討し協議を継続していく。

やなぎ美智子議員
(日本共産党)

JR下総中山駅の南北通路の整備については、高架下の敷地を活用することができれば、駅舎施設の大幅な改築をせずに対応が可能と考える。市は、船橋市と共に東日本旅客鉄道株式会社と協議しているとのことだが、その検討結果を問う。

答 同駅の高架下空間を活用した南北通路については、道路との高低差も少ないことから、船橋市と共に同社に設置の要望をしている。しかし、高架下はテナント

消 防

住宅開発が進む中 消防力の強化は
訓練等で連携強化を図る



北西部の
消防体制

小山田なおと議員
(公明党)

市北西部地域は住宅開発が進み、発展が見込まれるため、消防力を強化する必要があると考えるが、市の見解を問う。また、本地域の中でも国府台出張所は重要な消防拠点であると考え、建て替え等についてどのように考えているか。

答 本地域には消防団が7つ配置されていることから平素からの訓練等で連携強化を図り、協力体制を強固なものとする中で、消防力を強化していく。また、本出張所は老朽化が進んでいるため、本地域の人口動向等を勘案しつつ、消防署所の適正配置等について調査研究すると共に、市民の安全安心の確保に努める。

文 化

市立近現代美術館

開設の必要性は
新たな機能・役割を盛り込む



野口じゅん議員
(地域政党チームいちかわ)

第2次市川市文化振興ビジョンにおいて、市立近現代美術館は共創型ミュージアム都市を目指すための中

核として位置付けているが、なぜ本施設の開設が必要であると考えるのか。また、具体的どのような機能、役割を想定しているか。

答 本施設の開設は、既存

教 育

デジタル人材の育成

先端技術による学びの位置付けは
ドローンによる学びを8年度に予定



石崎ひでゆき議員
(いちかわ市民クラブ)

デジタル人材育成の推進に当たり、子どもが興味をもちやすく、社会で活用できる実践的な学びが必要と

考える。そこで、ドローンやプログラミング等の先端技術を活用した学びをどのように位置付け、学校教育等に生かしていくのか。

答 中央教育審議会は、次

街 づ く り

建築基準法違反

情報提供を受けた場合の市の対応は
速やかに事実を確認する



門田直人議員
(新しい流れ)

建築基準法に違反する増築が行われ、増築部分の固定資産税の課税漏れがある

答 市は、建築基準法違反がなかった際は、速やかに事実関係を確認し、違反等が判明した場合は、関係法令に基づき適切に是正等を行い、課税漏れが判明した場合は、適正な賦課・徴収を行う。また、一般論として、公人にそのような事実があったという場合、自ら進退を検討する案件に値すると市民は考えるのではないか。

市川漁港

新施設整備後 現在の状況は
既存施設の更新を進めている



富家薫議員
(地域政党チームいちかわ)

市川漁港のある塩浜1丁目には、新たな施設整備等により明るく安全な印象に変

わってきていると考えるが、度々新漁港の整備が完了し、既存の漁港施設についても更新工事を進めているところである。また、イベントとして、いちかわ三番瀬まつりを開催し、漁師による水揚げの実演や販売等を行っている。8年度は、若い世代の参加を増やすため、包括連携協定を結んでいる千葉商科大学に、ブースの出展等をお願いしている。

政 行

公共施設

施設予約時のIDの統合は
システムの入れ替えを検討



稲葉健二議員
(創生市川・自民党)

市の施設予約システムは、施設ごとにIDを発行し、申請を行う必要がある。IDの統合を行えばスムーズ

な施設の予約が可能と考え、市の見解を問う。また、こども館等の施設において、利用者のニーズ等を踏まえ、月曜日を閉館日とする考えはあるのか。

いっちとかっち

認知度向上のための取り組みは
各種事業等のPRに幅広く活用



堀内しんご議員
(未来市川)

市の広報キャラクター「いっちとかっち」は、市民、事業者、行政が一体となって育てていくことで、

認知度向上に向け、どのような取り組みを行うのか。

答 市では、人口50万人到達記念に新デザインのLINEスタンプを販売するほか、着ぐるみを制作し、イベントや広報動画に出演させる等、幅広い活用を考えている。庁内各部署と連携し、市の魅力や事業内容を効果的に伝えられるよう様々な場面で活用していく。

中核市への移行

行政能力の向上が必要では
質の高いサービスの提供にまい進



宮本均議員
(公明党)

市長は選挙公約で中核市への移行を掲げていたが、移行を成功させるためには、権限を持つことになり、職

員にまい進したいと考える。向上させる必要が生じると考えるが、市の見解を問う。

答 市が事務の最終決定者となる機会が増加するため、職員に対し、強い当事者意識と責任感の醸成や、広範な法的知識等の習得を促すほか、組織全体の行政能力の底上げと活性化を推進し、質の高い市民サービスの提供にまい進したいと考える。

公設喫煙所

市内に設置する考えは
適切な場所への設置も検討



国松ひろき議員
(未来市川)

令和6年度の本市の市たばこ税収入は約29億円あり、が、本市には公設喫煙所が大切な収入源と考える。喫煙所の設置状況をみると、

いる状況である。喫煙所の設置は市たばこ税収入の増加にもつながると考えるが、公設喫煙所の設置について、本市はどう考えているのか。

答 本市はこれまで喫煙所の設置は見送っていたが、所信表明にある通り、路上喫煙禁止区域の適正な管理やマナー向上のため、適切な場所への設置も検討する。